

日仏美術交流シンポジウム  
シュルレアリスムの時代  
越境と混淆の行方

# Les années surréalistes – « La beauté convulsive » au-delà des frontières プログラム

■10:30～10:45 開会の辞・趣旨説明 **高階秀爾** (日仏美術学会会長、大原美術館館長)

## 第1セッション 10:45～12:20

### 基調講演

**フランソワーズ・ルヴァイアン** (CNRS 研究ディレクター、アンドレ・シャステル研究センター)

「1930年代のフランスと日本におけるシュルレアリスム絵画の曖昧性」

Françoise Levailant,

« Les ambiguïtés de la peinture surréaliste en France et au Japon dans les années 1930 »

**速水豊** (兵庫県立美術館学芸員)

「三岸好太郎とシュルレアリスム」

Yutaka Hayami, « Kotaro Migishi et le surréalisme »

■12:20～14:00 昼食

## 第2セッション 14:00～15:20

**河本真理** (広島大学准教授)

マケット  
「下絵・模型としてのコラージュ

——シュルレアリスムのイメージの制作プロセス」

Mari Komoto, « Le collage-maquette. Un processus créateur de l'image surréaliste »

**鈴木雅雄** (早稲田大学教授)

「絵はいかにして〈動き出す〉のか

——シュルレアリスム美術におけるリズムとフィギュールの問題」

Masao Suzuki,

« Comment un tableau peut-il "s'animer" ? – Figure et rythme dans la peinture surréaliste – »

■15:20～15:35 ティーブレイク

## 第3セッション 15:35～16:55

**村上博哉** (国立西洋美術館学芸課長)

「ミロの寡黙な絵画」

Hiroya Murakami, « Les œuvres taciturnes de Joan Miró »

**ファブリス・フラユテズ** (西パリ大学ナンテール/ラ・デファンス校准教授)

「ハンス・ベルメールと日本」

Fabrice Flahutez, « Hans Bellmer et le Japon »

■16:55～17:10 ティーブレイク

## 全体討議 (司会: **高階秀爾**) 17:10～18:00

■18:00 閉会の辞

### ■お問い合わせ

参加ご希望の方は、住所・氏名および日仏美術交流シンポジウム「シュルレアリスムの時代」参加希望と記したメール (あるいはファックス) を

**11月14日 (土)** までに下記までお送り下さい。

E-mail : [art-francojaponais@digital.email.ne.jp](mailto:art-francojaponais@digital.email.ne.jp)

Tel/Fax : 03-3280-2415

- ・ 恵比寿駅東口から「動く歩道」経由で徒歩10分ぐらいのところにあります。
- ・ 10 minutes à pied depuis la Sortie Est de la gare d'Ebisu (ligne JR Yamanote).

〒150-0013

東京都渋谷区恵比寿 3-9-25

3-9-25, Ebisu, Shibuya-ku,

Tokyo, 150-0013 Japon



恵比寿・日仏会館周辺地図

Plan du quartier d'Ebisu

日仏会館  
Maison Franco-Japonaise

ウェスティンホテル東京  
The Westin Tokyo

目黒 Meguro